

トラック輸送情報（平成15年 3月分）

平成15年 5月29日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：金子、荒木 内線28-315

直通 03-5253-8342

ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>

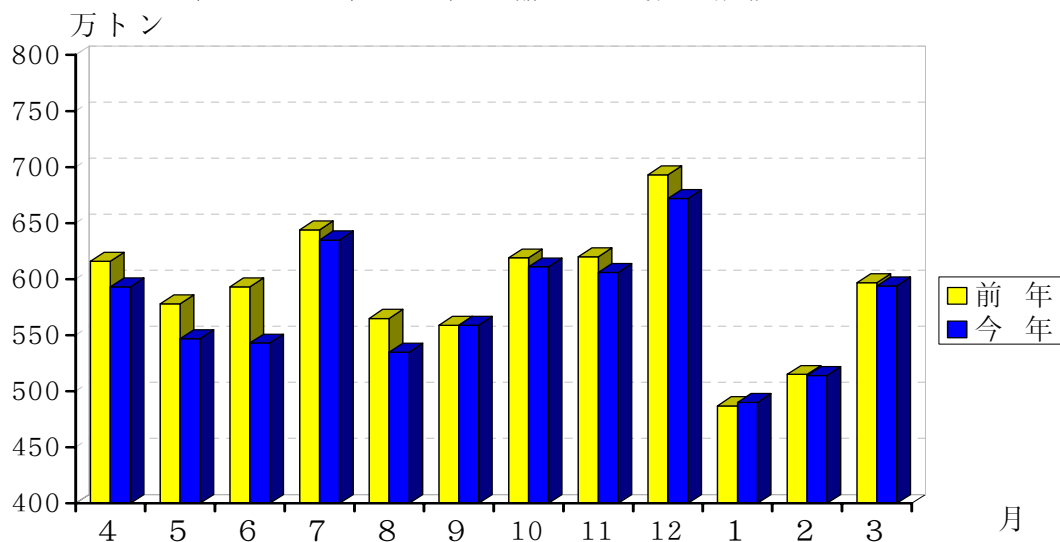
1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の輸送状況

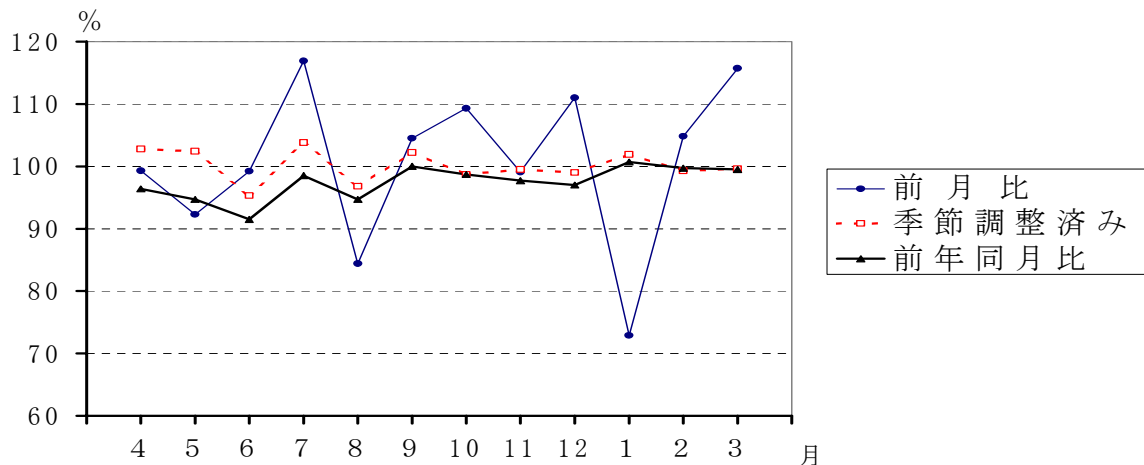
調査対象26社の本月の輸送量は5,943,947トンで、前年同月比 99.5%、前月比115.7%（季節調整済み 99.6%）の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

なお、平均稼働日数は、24.6日、稼働1日当たりの輸送量は241,624トンで、前年同月比 95.4%、前月比107.2%となった。

（図1-1）26社の輸送トン数の推移



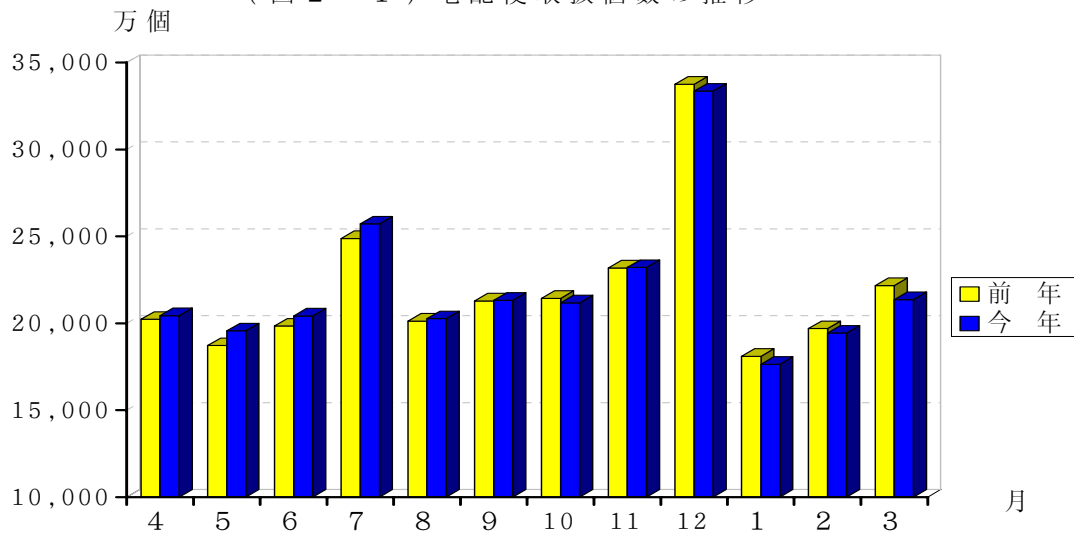
（図1-2）前月比・前月比（季節調整済み）・前年同月比



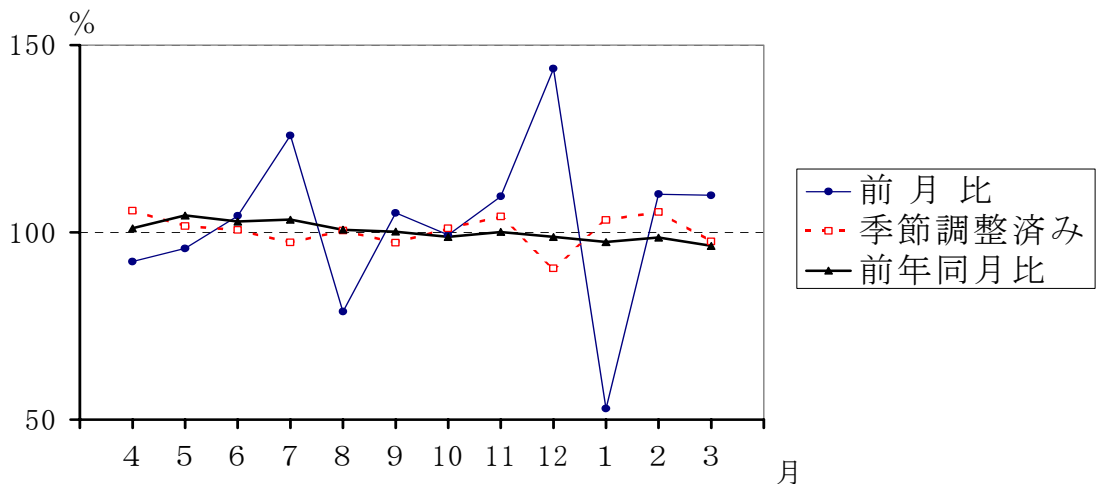
(2) 宅配便の輸送状況

調査対象20社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は213,650千個であり、前年同月比 96.4%、前月比109.9% (季節調整済み 97.6%) であった。(図2 - 1、図2 - 2参照)

(図2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 前月比・前月比(季節調整済み)・前年同月比



(3) 本月の輸送動向

本月の輸送は、前月と比べ、平均稼働日数は1.8日増加し、稼働1日当たりの輸送量は、約1.6万トンの増加、前月比107.2%であった。総輸送量については、先月と比べ約81万トン増加したため、前月比115.7%であった。

宅配便については、約1930万個増加したため、前月比109.9%であった。

前年同月と比べると、平均稼働日数は1日増加し、稼働1日当たりの輸送量は約1.2万トンの減少、前年同月比 95.4%であった。総輸送量については、約3万トン減少したため、前年同月比 99.5%であった。

宅配便については、約809万個減少したため、前年同月比 96.4%の実績となった。

(4) 品目別及び地域別輸送状況

本月の輸送は、前月と比べ、年度末期・決算期を迎えたこと、引越しシーズン等の理由により、全ての品目において増加傾向にあった。中でも、日用品が全国において、工場・生産地からの貨物増、季節的需要増を主な理由として増加している。

前年同月と比べると、減少傾向を示す品目が多く、中でも、その他が全国において、デパート、スーパーからの貨物減、不況を主な理由として減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 26社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	4	11		農産物、野菜、青果物	東北	4	
	金属製品		4	14	2		近畿	4, 8	
	機械		9	12		建築用金属製品	関東	4	
						機械部品、産業機械、家電	関東、北陸信越	4	
	化学工業品		9	12	1	化学薬品、石油製品、塗料	関東	4, 8	
	繊維工業品		8	13	1	織物	関東	4, 8	
	食料工業品	1	13	6	1	製造食品、加工食品、飲料	関東、近畿	4	
	日用品	2	15	4		一般貨物、身廻品、雑貨品	全国	4, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	11	5		中国	4	
						青果物、野菜、畜産物	北海道、九州	4, 8, 9	
	金属製品		1	14	4	1	近畿	4	
						建築用金属製品、家電製品	関東、中部	4, 9	
	機械		2	14	4	1	自動車部品、農機具	東京、近畿、中国	4
						機械部品、家電製品	関東、北陸信越、中部	4, 9	
	化学工業品			17	4	1	塗料	関東	4, 9
	繊維工業品			14	8		加工食品、飲料、酒類 糸、織物、衣類	関東、中部、中国	4
食料工業品	1	3	12	5		加工食品、飲料、酒類	関東、近畿、四国	4, 7	
日 用 品			4	9	8	一般貨物、雑貨品	中部、近畿	4	
						玩具、文具、印刷物、運道具	関東、北陸信越	9	
	日用品		4	9	8				
	その他		2	12	6	1	宅配貨物、百貨店配送	全国	2, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらをのぞく府県)]単位である。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 852社 / 調査対象事業者数 1,086社）の輸送量は、前年同月比101.7%、前月比107.1%であった。

(表2) 地方運輸局別 前年同月比・前月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	101.7%	106.0%	97.9%	101.2%	100.9%	99.8%	101.7%	102.3%	103.5%	98.2%	108.7%
前 月 比	107.1%	105.9%	105.7%	106.1%	112.1%	103.7%	107.5%	110.3%	106.9%	108.0%	119.4%

(2) 地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、冬期の降雪量が減少した事による「廃棄物(排雪)」や土木工事の低迷により「木材」「砂利・砂・石材」「セメント」等の関係品目の輸送減があったものの、「取り合せ品(引越荷物)」及び農作業関連の「化学肥料」の輸送の増加があったため、対前月比105.9%、対前年同月比106.0%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
東北	<p>本月の輸送は、公共工事の減少の影響を受けていると思われる「砂利・砂・石材」「セメント」等の減少が見られたが、引越シーズンによる「取り合せ品」の増加、また「穀物」「食料工業品」等の増加により、対前月比は105.7%、対前年同月比は97.9%であった。 今後の輸送見通しは次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
関東	<p>本月の輸送は、全体的には稼働日数増により輸送トン数が増加した。品目については、季節的な需要により「日用品」「その他の製造工業品」「取り合わせ品」等の増加があった。このことから対前月比106.1%、対前年同月比においても101.2%と共に増加した。 今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、年度末における公共工事等の増加により「砂利・砂・石材」「セメント」関連の品目の輸送量が増加した事により、対前月比112.1%と増加したが、対前年同月比では100.9%とほぼ横ばいであった。 今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は下降傾向にある。</p>
中部	<p>本月の輸送は、倉庫への出入庫の減少により「繊維工業品」の輸送減がみられたものの、年度末の需要や稼働日数の増加等により「日用品(節句用人形)」「砂利・砂・石材」「金属製品」等の輸送増が見られたため、対前月比は103.7%の増加となったが、対前年同月比は99.8%とほぼ横ばいとなっている。今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、年度末の需要や引越等による輸送増があり、特に「日用品」「機械」「金属製品」「取り合せ品」の増加が目立った。このため、対前月比は107.5%となった。また、対前年同月比も101.7%と増加した。今後の輸送見通しは、3月は年度末でもあり一時的な需要増と思われるため、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
中国	<p>本月の輸送は、年度末による公共工事や引越等の需要により「砂利・砂・石材」「セメント」「取り合せ品」等の輸送が増加したため、対前月比110.3%の実績となった。また、対前年同月比も102.3%となったが、地域により輸送量の増減にばらつきが出ているため、必ずしも景気が回復したとは、言い難い。今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
四国	<p>本月の輸送は、年度末による在庫調整、また先月よりも稼働日数が多い事もあり、輸送量は増加している。また、季節柄「果物」の収穫による輸送増もあり、対前月比は106.9%、対前年同月比も103.5%と増加している。今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
九州	<p>本月の輸送は、年度末の公共事業の増加、年度末の需要や引越シーズンに伴う需要があったため、「日用品」「食料工業品」「金属製品」をはじめ、多岐の品目において輸送量の増加が見られた事から、対前月比108.0%となったが、対前年同月比は98.2%にとどまった。 今後の輸送見通しは、次月及び以降共に下降傾向にある。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、春休みによる学校給食搬送依頼が減少したため「食料工業品」、また商社・問屋からの需要の減少によるロールペーパー等の「紙・パルプ」の輸送減がみられたが、引越シーズンによる「取り合わせ品」、また彼岸用切り花の出荷依頼増加による「その他の農産品」の輸送が増加したため、対前月比では119.4%、対前年同月比では108.7%とそれぞれ増加を示した。 今後の輸送見通しは次月及び以降共に上昇傾向にある。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増	1	5	0	1	1	1	1	0	1	1	12
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 野菜・果物	増	0	0	0	2	0	1	0	2	4	0	9
	減	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0	7
3. その他の農産品	増	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	減	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
4. 畜産品	増	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	6
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5. 水産品	増	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	減	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
6. 木材	増	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	6
	減	5	1	0	1	1	1	0	1	1	0	11
7. 薪炭	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 石炭	増	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	減	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9. 金属鉱物	増	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	減	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
10. 砂利・砂・石材	増	2	0	1	3	1	0	3	0	2	0	12
	減	7	3	0	0	0	0	1	0	2	0	13
11. 工業用非金属鉱物	増	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4
	減	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4
12. 鉄鋼	増	1	0	1	1	0	1	0	0	2	0	6
	減	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	5
13. 非鉄金属	増	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14. 金属製品	増	1	0	2	0	1	2	0	1	4	0	11
	減	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	4
15. 機械	増	1	2	2	1	0	3	1	0	2	0	12
	減	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	6
16. セメント	増	1	0	0	2	0	0	2	0	3	0	8
	減	2	2	0	0	0	0	0	0	4	0	8
17. その他の窯業品	増	1	4	1	1	0	1	1	0	0	0	9
	減	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3

品 目		運 輸 局										
		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18. 揮 発 油	増	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	5
	減	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
19. そ の 他 の 石 油 製 品	増	2	3	0	1	0	1	1	0	1	0	9
	減	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0	6
20. コ ー ク ス ・ そ の 他 の 石 炭 製 品	増	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	減	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
21. 化 学 薬 品	増	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	5
	減	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
22. 化 学 肥 料	増	5	4	0	0	0	0	1	0	0	0	10
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23. そ の 他 の 化 学 工 業 品	増	0	2	0	2	1	1	0	0	1	0	7
	減	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
24. 紙 ・ パ ル プ	増	1	1	1	0	1	0	1	1	3	1	10
	減	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	5
25. 織 維 工 業 品	増	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	減	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
26. 食 料 工 業 品	増	1	5	1	0	0	1	1	2	7	0	18
	減	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	4
27. 日 用 品	増	1	2	2	1	5	4	1	1	9	0	26
	減	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
28. そ の 他 の 製 造 工 業 品	増	0	0	2	0	0	1	2	1	5	0	11
	減	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
29. 金 属 く ず	増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	減	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30. そ の 他 の く ず も の	増	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	減	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
31. 動 植 物 性 飼 ・ 肥 料	増	1	4	2	1	0	0	0	1	1	0	10
	減	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
32. 廃 棄 物	増	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	減	10	0	0	0	0	0	0	1	1	0	12
33. 輸 送 用 容 器	増	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	4
	減	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
34. 取 り 合 せ 品	増	4	6	3	4	0	2	2	0	1	5	27
	減	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
35. そ の 他	増	0	1	2	3	1	2	3	1	2	1	16
	減	0	1	1	1	1	1	4	0	1	0	10